

M S T 今年度の山崎貞一賞 川崎氏(東北大教授)ら6人選定

材料科学技術振興財団
(MST、東京都世田谷区、03・3415・2200)は第7回(平成19年度)山崎貞一賞の受賞者として、「酸化亜鉛

による新半導体機能発現」の研究で成果をあげた川崎雅司東北大教授(材料分野)ら4分野6人を選んだ。選考委員会(白川英樹委員長||筑波大名誉教授)が選定。受賞者には賞状、金メダルと各分野に対して賞金300万円が贈られる。同賞はMST初代理事長の故山崎貞一氏の功績をたたえ優れた創造的業績をあげた研究者を表彰する制度。川崎教授以外の受賞者は次の通り。

▽半導体および半導体装置分野||岩井洋東工大教授、百瀬寿代東芝半導体研究開発センター主務、大黒達也同主査、「サブ50ナノ(ナノ)は10億分の1」MOSFETの先駆的研究開発」▽計測評

価分野||長谷川健東工大准教授「多角入射分解分光法の開発と超薄膜の構

造解析への応用」▽バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野||カルニンチ・ピエロ理研中央研究所前任研究員「キャットラッパー法の開発など」